

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号:11 施設:富士山世界遺産センター

アドバイザー	評価区分	評価内容
小口アドバイザー	「要改善」	<p>南館が開設して今の形となり丸3年ということで、一区切り、一度振り返るタイミングだと思う。また、今年度から指定管理者が変わり南館無料化という大きな転換を迎えたことで再スタートという状況に近いと思うので、もう一度いろいろな角度から考えて、今後を進めてほしいという意味で要改善とした。</p> <p>具体的に3点申し上げる。</p> <p>1つめは、南館のあり方について改めて考えてもらいたい。</p> <p>来館者が少ないから有料ではなく無料にしたというのが一つの理由だが、来館者が少ないのは有料だからだけではないと思う。</p> <p>テーマが信仰と芸術という少し専門的な部分もあると思うが、ITを使ったり体験型とかガイドによる案内など非常に大きな魅力があるのも事実だと思う。</p> <p>今後、来場者がかなり増加することも見込んでいるが、誰にどのような魅力をどう伝えていくのかをもう一度原点に戻って考えてもらいたい。</p> <p>2つめは、北館と南館を一体のものとして考えることができないかということ。</p> <p>以前は南館が有料ということでかなり工夫をされていたが、当然テーマ性の違いはあるが、全館無料となると場所的には一体的になり人の流れも大きく変わると思うので、スタッフの配置の問題や売店カフェのあり方なども変わってくるし、見学コースも一体化するなど新しい魅力を打ち出すことも可能だと思う。南館と北館を一つのものとして売り出す工夫に取り組んでいただきたい。</p> <p>3つめは、県内の小中学校の教育の場としてもっと活用してもらいたいということ。</p> <p>これだけの施設がせっかくあるのに、県内の教育旅行は、小中学校の数からするとまだまだ少ないと思うので、具体的に目標数を決めてこちらから働きかけ計画的に進めることで、すべてとは言わないがほとんどの学校が一度はこ</p>

小澤アドバイザー	「要改善」	<p>のセンターを見学するという状態に持っていけるような努力・工夫をしていただきたい。</p> <p>信仰の山として、発信の仕方に一工夫があったと感じた。</p> <p>指定管理者が変わったことで、入館料が無料になり入館者が増加したというのは大変良い傾向だと思った。</p> <p>また、それが北館の土産店やレストランにつながっているのかと思った。</p> <p>北館の展示等にも工夫がされていて分かりやすい案内だと思った。</p> <p>世界遺産と富士講の役割等を、旅行者やSNSで、更にセンターを知ってもらうための発信が必要だと思った。</p> <p>また、近隣の学校だけでなく、更に発信の輪を広げ多くの人に利用してもらうことが望ましいのではないかと思い、要改善とした。</p>
村上アドバイザー	「要改善」	<p>南館の利用料が無料となり、その分は売店収入の利益で補っていかうということだが、昨年度と比較して県からの委託料は、委託料の見直しやシステム保守点検の支払の変更を除いても増えているので、集客を増やしていかないといけないと思う。</p> <p>今年度の来客数も、前年比で北館と南館合計で4～6月は増えているが7月は減ってしまっているので、ぜひ来館者を増やしてその増加数が売店の売り上げやその収支に見合っているか管理し、売店だけでなくカフェの方でも集客増加に見合った結果が出るよう頑張っていたいただきたい。</p> <p>富士山についての知識がない人は、ただ見学をただけで一度来れば満足してしまう傾向にあるが、ガイドしてもらうことで富士山への興味が深くなりリピーターとなって良い情報を県民に広めてくれると思うので、まずは足を運んでもらうためのPRと現地でのガイドに更に力を入れて利用者確保につなげてもらいたい。</p>

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号:12 施設名:富士北麓公園

アドバイザー	評価区分	評価内容
小口アドバイザー	「要改善」	<p>スポーツをするには素晴らしい環境で施設も相当充実しているが、残念ながら施設ごとに稼働率にかなり差があることや、県民一人あたりの費用負担が多額であるというのが実態である。</p> <p>現在はオリンピック等があり利用調整が必要となっているが、今後、稼働率を上げるためにどうするか、広く県民に利用してもらうためにはどうするかということを一段と努力していただきたい。</p> <p>改善案としては具体的に3つ。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 屋内練習走路の活用 相当の投資額でできた施設で、見るだけでも県産材を使用し素晴らしいものであると感じた。もちろんこの稼働率をどう上げていくかは大切であるが、この施設をもう少しPRの全面に出して、例えば、施設の写真や、利用した有名人の感想を載せる等も考えられる。屋内練習走路をPRの前面に出し、公園全体のPRにつなげるというような工夫が必要である。2. 施設利用者以外の利用者(観客者数)の確保の工夫 競技やチームを見る人・応援する人を増加させるための工夫をするとよい。先日の報道でもあったが、有名な選手が来園すると相当な数の観客が訪れるため、そういったチームや選手を呼び込む、呼び込んだことをPRすること等も観客者数を増やす一つの方法である。また、スポーツに関係なく、イベントを企画し来てもらうという方法もある。 更に、周辺に飲食をする場所がまったくない環境であるため、簡易的な飲食場の常設等について今後の検討課題としてもらいたい。3. オリンピック後の施設活用方策の検討 オリンピック後の対応を早めに検討する必要がある。ここ3年ぐらいはオリンピックに向け多額な投資、オリンピック関係の誘致を優先している。これは当然であるが、問題はオリンピック後である。多額の投資をどう回収するか、オリンピック関

<p>小澤アドバイザー</p>	<p>「要改善」</p>	<p>係以外の利用者数をどう確保するのかを早めに検討し準備する必要がある。</p> <p>富士山などの景観に恵まれ、夏は涼しい環境の中でスポーツを楽しめる絶好の場所、素晴らしい施設であると感じた。敷地全体を管理運営するのは大変なことであるが、公園内の清掃から、植栽管理、各種施設の保安・点検巡視、情報発信等、管理者の努力がうかがえた。</p> <p>屋内練習走路が供用開始され、トップアスリートの要請にも応えていることが理解できたが、オリンピック後も更に PR が必要と考える。</p> <p>今は 2020 年オリンピックのフランスラグビーチームの要望にも応えているが、今後、幅広い利用者の確保や他県からの利用者の増加につながるよう、利用者のニーズの把握に努めていく必要がある。</p> <p>また、大規模地震の際など防災活動拠点として十分に機能を果たせるよう、危機管理にも力を入れてほしい。</p>
<p>村上アドバイザー</p>	<p>「要改善」</p>	<p>自然に囲まれた良い環境で、オリンピック合宿等、国際的にも使われており、その期間は利用制限があり、一般の利用者数が減ってしまうが、そこは認知度の向上と捉え、最善の対応を行い、それ以降に一般の利用につながるようにすること。</p> <p>屋内練習走路は、オリンピック開催後の工夫でどれだけ一般の稼働率を増加させられるかが課題と考える。</p> <p>教育委員会で対応した施設の設置費用や、維持管理費・改修費に係る費用まで含めれば、施設に投資した額は県民一人あたりにすると多額となる。交通の面からも容易に散歩等にいける場所ではなく、利用者に偏りが出ている気がした。</p> <p>県民に有効に公平に利用されることを意識して利用者への PR を行ってほしい。</p> <p>また、災害時の防災活動拠点としての、県民の安全の向上に努めてほしい。</p>